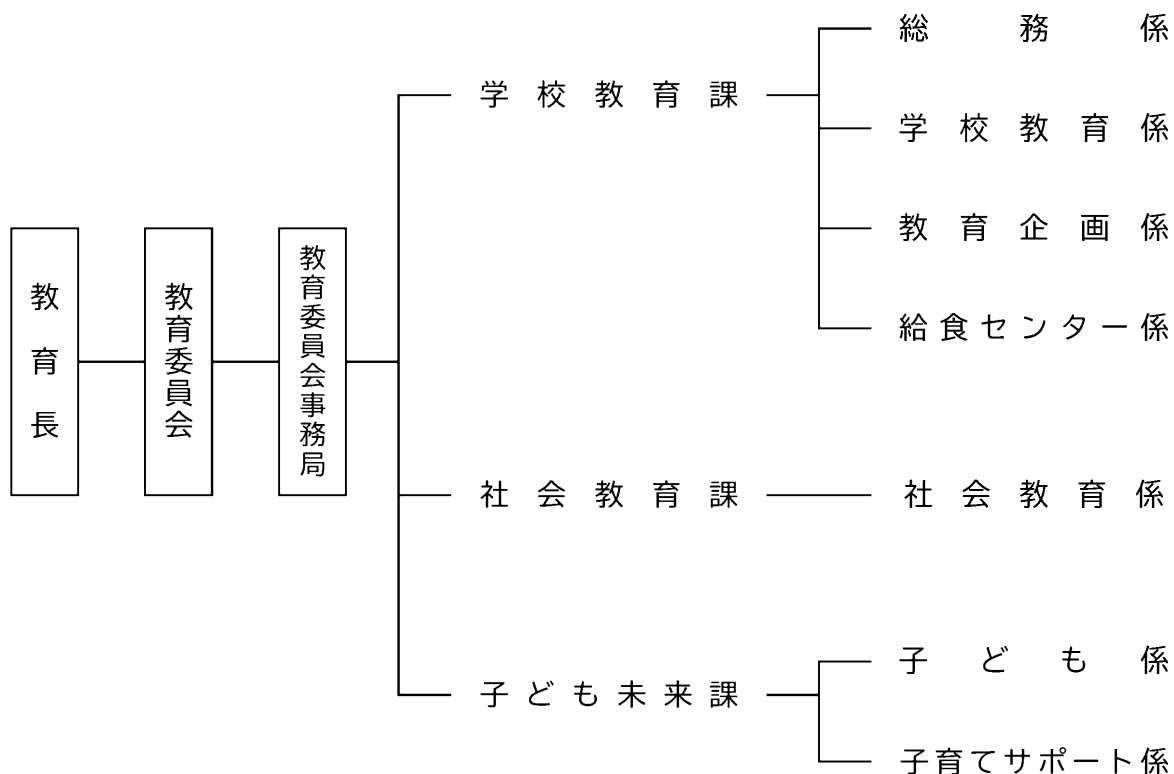

資 料

1	教育委員会組織図及び各課の分掌事務	P35
2	教育委員会事務局 職員一覧	P36
3	教育委員会の附属機関等	P37
4	教育関係各種団体	P43
5	指定文化財一覧	P45
6	教育の沿革	P46
7	統計データ	P52
(1)	小中学校施設の概況	
(2)	児童生徒数の推移	
(3)	各学校統合年の一覧	
(4)	就学援助の状況	
(5)	特別支援教育就学奨励費の状況	
(6)	特別支援学級等通学援助費の状況	
(7)	社会教育施設利用状況	
(8)	子ども発達支援センター利用状況	
(9)	教育・保育施設等助成費	



➤ 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



【学校教育課】

- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

【社会教育課】

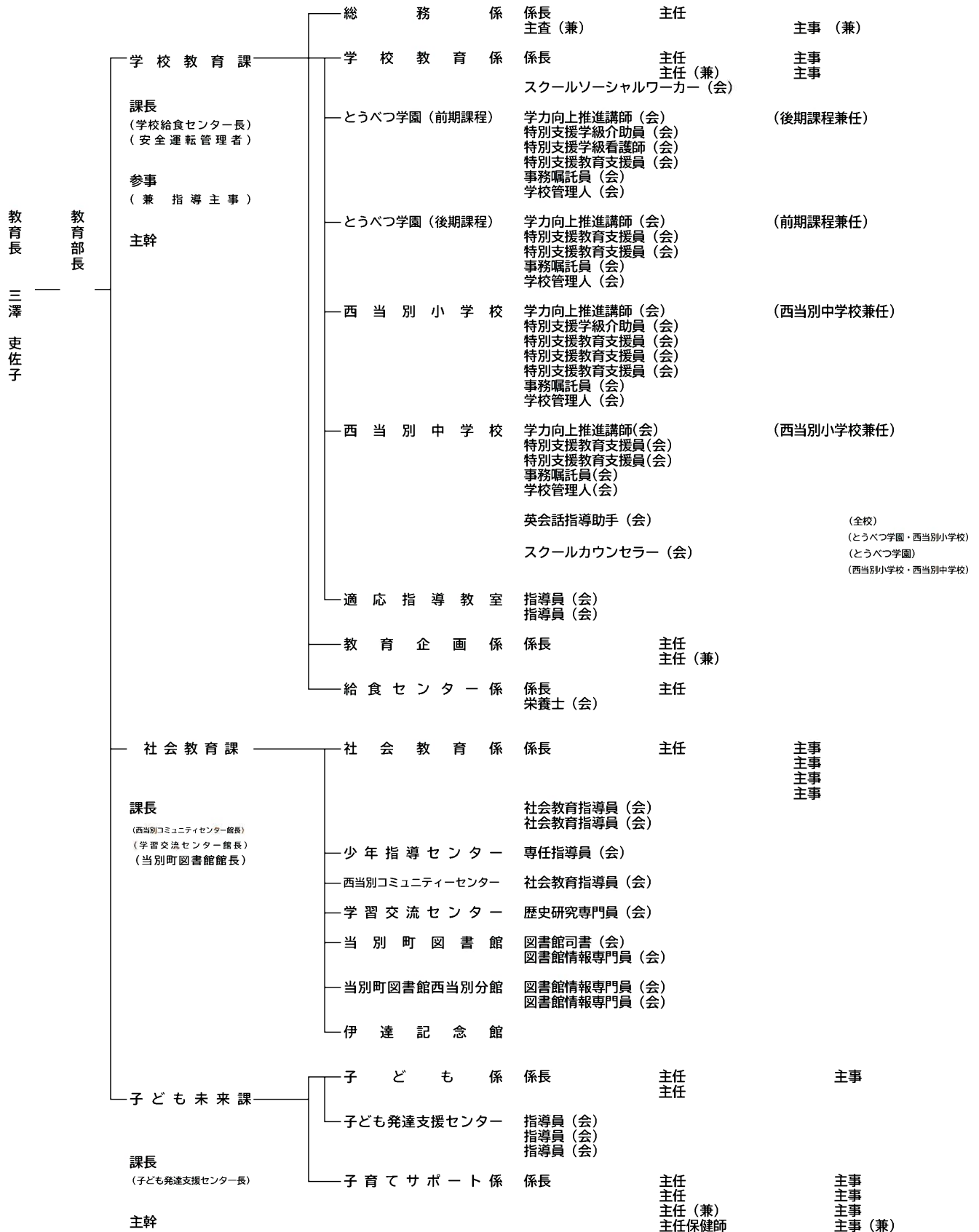
- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

【子ども未来課】

- ・ 子育て支援施策の計画及び推進に関すること
- ・ 幼児教育及び保育に関すること
- ・ 子ども発達支援センターに関すること
- ・ ファミリーサポートセンターに関すること
- ・ 子どもプレイハウスに関すること
- ・ その他子育て支援に関すること

➤ 2 教育委員会事務局 職員一覧

(令和5年4月1日現在)



合計 78名
注：職名(会)～会計年度任用職員

➤ 3 教育委員会の附属機関等

各委員：令和5年5月1日現在

(1) 当別町教育支援委員会（附属機関）

教育支援委員会委員				
氏 名		選任区分		所 属
前 田 史 郎	第1号委員	医師		とうべつ内科クリニック
吉 村 公 孝	第2号委員	学識経験者		当別町立とうべつ学園
八木橋 桂 二	第3号委員	特別支援学級設置校校長		当別町立西当別小学校
千 田 冬 威	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
小 倉 陽 介	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
三 浦 ゆかり	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
畠 山 謙	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
永 間 尊 史	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
石 本 美奈子	第4号委員	特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校
永 井 康 義	第4号委員	特別支援教育担当教諭		北海道拓北養護学校
長谷川 恵 子	第5号委員	児童福祉関係職員		当別町福祉部保健福祉課
五十嵐 京 湖	第5号委員	児童福祉関係職員		認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	第5号委員	児童福祉関係職員		認定こども園当別夢の国幼稚園
大 溝 綾 乃	第5号委員	児童福祉関係職員		当別町子ども発達支援センター
教育支援委員会専門委員				
千 田 冬 威		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
小 倉 陽 介		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
三 浦 ゆかり		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
畠 山 謙		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校
永 間 尊 史		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園
石 本 美奈子		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校
大 溝 綾 乃		児童福祉関係職員		当別町子ども発達支援センター

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員			
氏 名		選任区分	所 属
永 井 康 義		特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
千 田 冬 威		特別支援学級設置校教職員	当別町立とうべつ学園
三 浦 ゆかり		特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校

特別支援教育専門家委員			
氏 名		選任区分	所 属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、 小児科等の医師	北海道医療大学
菅 原 博 子	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
齊 藤 真 善	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会（附属機関）

氏 名	分 野	職能区分	所 属
山 谷 敬三郎	教 育	生涯学習	北翔大学
縄 野 歩	法 律	弁護士	札幌弁護士会
濱 本 琢	医 療	精神科医	江別すずらん病院
富 家 直 明	心 理	臨床心理士	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福 間 麻 紀	福 祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 令和4年5月1日～令和6年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）				
学校名	内 科 医		耳 鼻 科 医	眼 科 医
とうべつ学園 （前期課程）	1～3年	前 田 史 郎	佐 伯 昌 彦	小 林 和 夫
	4～6年	古明地 克 英		
西当別小学校	全 学 年	藤 田 朋 紀	東 山 佳 澄	
とうべつ学園 （後期課程）	全 学 年	澤 崎 兵 庫	佐 伯 昌 彦	
西当別中学校	全 学 年	朴 昶 勲	東 山 佳 澄	

学校歯科医・学校薬剤師			
学校名	歯 科 医		薬 剤 師
とうべつ学園 （前期課程）	1～4年	齊 藤 正 人	片 岡 芳 仁
	5 年	田 西 和 伸	
	6 年	黒 澤 遠 奈	
西当別小学校	1～2年	相 良 昌 宏	田 西 洋 三
	3～6年	三 浦 宏 子	
とうべつ学園 （後期課程）	全 学 年	飯 嶋 雅 弘	片 岡 芳 仁
西当別中学校	1～2年	秀 誠 司	田 西 洋 三
	3 年	相 良 昌 宏	

[任期] 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
委 員 長	森 聰	教職員
副委員長	瀬 野 裕 子	教職員
委 員	佐 藤 純 代	教職員
監 事	佐 藤 亘	教職員
監 事	佐 藤 太一郎	保護者
委 員	有 澤 賢太郎	保護者
委 員	小 林 彩 華	保護者
委 員	田 西 洋 三	学識経験者
委 員	島 田 恭 子	学識経験者
委 員	館 柳 律 子	学識経験者

[任期] 令和3年12月22日～令和5年12月21日

(6) 当別町学校運営協議会（附属機関）

氏 名	区 分		備 考
【 当 別 地 区 】			
山 田 健 太	第1号委員	地域住民	委員長
長谷部 直 樹	第1号委員	地域住民	副委員長
難 波 雅 美	第1号委員	地域住民	
小田島 正 高	第1号委員	地域住民	
加 藤 勇 二	第1号委員	地域住民	
松 岡 宏 尚	第1号委員	地域住民	
泉 亨 英 徳	第1号委員	地域住民	
鰐 渕 真太郎	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
佐 藤 太一郎	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
並 川 憲 多	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
小 松 芳 幸	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
【 西 当 別 地 区 】			
山 田 佳 秀	第1号委員	地域住民	委員長
佐々木 健 児	第1号委員	地域住民	副委員長
大 坪 圭 子	第1号委員	地域住民	
泉 亨 智 則	第1号委員	地域住民	
金 子 景次郎	第1号委員	地域住民	
小 貫 幸 恵	第1号委員	地域住民	
曾 川 昭 治	第1号委員	地域住民	
佐々木 彦 治	第1号委員	地域住民	
柳 田 隆	第1号委員	地域住民	
和 島 朋 広	第1号委員	地域住民	
吉 野 裕 宜	第1号委員	地域住民	
仲 保 智 宏	第1号委員	地域住民	
有 澤 賢太郎	第2号委員	保護者	西当別小学校PTA
中 田 綾 子	第2号委員	保護者	西当別中学校PTA
若 命 泰 寛	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
五十嵐 京 湖	第4号委員	その他必要と認めるもの	認定こども園おとぎのくに園長
瀬 野 裕 子	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校教頭
小 関 展 彰	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教頭
岩 崎 晋 也	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校主幹教諭
早矢仕 浩 司	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校教諭
木 瀬 尚 貴	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教諭
竹 治 義 規	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教諭

[任期] 令和4年4月1日～令和6年3月31日

(7) 当別町文化財調査審議会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
会 長	鎌 田 望	学識経験者
副会長	梅 枝 正 春	学識経験者
委 員	倉 田 守	学識経験者
委 員	渡 部 泰 夫	学識経験者
委 員	大 口 弘 美	学識経験者

[任期] 令和3年12月20日～令和5年12月19日

(8) 当別町社会教育委員会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
委 員	浜 上 尚 也	学識経験者
委 員	吉 村 公 孝	学校教育関係者
委 員	近 藤 留 美	社会教育関係者
委 員	曾 川 昭 治	社会教育関係者
委 員	伊 藤 美穂子	社会教育関係者
委 員	岡 隆 太	社会教育関係者
委 員	佐 藤 太一郎	家庭教育活動者
委 員	中 田 綾 子	家庭教育活動者
委 員	川 合 秋 夫	学識経験者

〔任期〕 令和5年4月24日～令和7年4月23日

(9) 当別町子ども読書活動推進委員会

職 名	氏 名	所 属
委 員	渡 部 泰 夫	学識経験者
委 員	金 木 雅 美	当別町教育委員会子ども未来課
委 員	寺 田 美由紀	認定こども園おとぎのくに
委 員	文 字 絵里子	認定こども園当別夢の国幼稚園
委 員	永 坂 洋 美	とうべつ学園
委 員	弥勒院 瑞 枝	西当別小学校
委 員	小 柳 華奈子	西当別中学校
委 員	富士本 亜希子	とうべつ学園よみきかせ隊

〔任期〕 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(10) 当別町スポーツ推進委員（附属機関）

職 名	氏 名	分担事項
委員長	浜 上 尚 也	スキー、サイクリング、コーディネーション
副委員長	伊 藤 美穂子	水泳、ミニバレー、テニス、水泳指導者、コーディネーション
委 員	野 口 和 之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
委 員	石 澤 ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール、コーディネーション
委 員	日 光 正 博	スキー、パークゴルフ、バレーボール、コーディネーション
委 員	木 村 純 一	剣道、フライングディスク
委 員	中 多 美 幸	ミニバレー
委 員	柴 木 龍 也	サッカー、軽スポーツ
委 員	菅 野 敬 正	陸上、トライアスロン
委 員	須 藤 豪	サッカー、コーディネーション
委 員	田 村 直 紀	ミニバレー、バドミントン
委 員	武 田 雅 子	バドミントン、陸上
委 員	新 井 和 也	フライングディスク、ボッチャ、スキー
委 員	池 田 友 洋	ボッチャ、フライングディスク
委 員	石 田 妙 子	テニス

〔任期〕 令和4年5月1日～令和6年4月30日

(11) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏 名	関係機関・団体
須 藤 政 信	当別町民生児童委員協議会
石 澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
中 田 綾 子	当別町PTA連合会
佐 藤 太一郎	当別町子ども会育成連合会

〔任期〕 令和5年5月26日～令和6年5月25日

少年指導委員	
氏 名	関係機関・団体
【 当 別 地 区 】	
島 田 洋 輔	とうべつ学園
本 間 哲 善	とうべつ学園
藤 森 敬 貴	北海道当別高等学校
佐 藤 政 彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鰐 淵 亜紀子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
後 藤 尚 範	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
棒 田 克 幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
須 藤 政 信	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
石 澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岩 淵 博 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
有 澤 一 昌	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
長谷川 廣 美	当別町民生児童委員協議会
三 池 正 樹	とうべつ学園PTA
【 太美（西当別）地区 】	
小 林 宏 太	西当別小学校
小 関 展 彰	西当別中学校
山 田 論	当別町民生児童委員協議会
藤 田 力	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鈴 木 章 造	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
宮 本 勝 則	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
川 嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
中 村 映 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岸 本 進 嗣	西当別小学校PTA
石 原 信登志	西当別中学校PTA

〔任期〕 令和5年5月26日～令和7年5月25日

(12) 当別町子ども・子育て会議

氏 名	区 分		所 属
金 澤 潤一郎	第1号委員	学識経験	北海道医療大学
八木橋 桂 二	第1号委員	学識経験	当別町立学校校長会
難 波 雅 美	第2号委員	関係団体	当別町民生児童委員協議会
五十嵐 京 湖	第2号委員	関係団体	認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	第2号委員	関係団体	認定こども園当別夢の国幼稚園
湯 川 正 雄	第2号委員	関係団体	社会福祉法人 ゆうゆう
中 田 綾 子	第3号委員	保護者	当別町PTA連合会
高 田 裕 輔	第3号委員	保護者	認定こども園当別夢の国幼稚園PTA
袴 田 智 志	第3号委員	保護者	認定こども園おとぎのくにPTA
辻 野 浩	第4号委員	公募	
津 崎 弘 樹	第4号委員	公募	

[任期] 令和3年10月1日～令和5年9月30日

(13) 当別町要保護児童対策地域協議会

氏 名	区 分	所 属
遊 佐 博 憲	行 政	当別町福祉部保健福祉課
小 畑 孝 尚	行 政	当別町福祉部介護課
高 田 訓 之	行 政	当別町教育委員会学校教育課
石 川 公 隆	行 政	当別町教育委員会社会教育課
畠 中 さおり	行 政	北海道中央児童相談所
中 畑 佐和子	行 政	北海道石狩振興局保健環境部
吉 村 公 孝	学 校	当別町立学校校長会
中 田 綾 子	学 校	当別町PTA連合会
五十嵐 京 湖	認定こども園	認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	認定こども園	認定こども園当別夢の国幼稚園
須 藤 政 信	民生委員児童委員	当別町民生児童委員協議会
堀 内 教 子	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
白 井 応 隆	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
渡 部 泰 夫	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
鶴 野 陽 三	警 察	札幌方面北警察署当別交番
前 田 史 郎	医療機関	江別医師会当別ブロック

[任期] 令和5年4月1日～令和7年3月31日

➤ 4 教育関係各種団体

(1) 当別町文化協会 加盟団体

令和5年5月1日現在

区 分	団 体 名
民謡	當香会 民謡の部
詩吟	日本詩吟学院岳風会 太美道場
舞踊	西川流舞踊教室 当別鯉延会
	正派菊乃流菊ゆう会
	ひょっとこ踊り 玉福
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ
	子供の為のジャズダンスサークルSKIP
	ダンスグループDDD
	アロハフラーズ
	花舞
	ハーラウ・フラ・オ・ナーレイヒバ・ポーラニ
音楽	当別町カラオケ連合会
	太美カラオケ愛好会
	東裏カラオケ愛好会
	當香会 カラオケの部
	当別クローバーの会
	レディース・ハーモニー
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ
	チェリーベル
	OJB
	エーデルワイス
郷土芸能	当別音頭を守る会
	とべのすけすずめ踊り隊
茶華道	当別華道連盟
	当別裏千家茶道同好会
	西当別茶道教室
書道絵画	西当書道会
	太美書道教室
生活文化	当別写真同好会
	スエタ手芸教室
	クレイ.クラフト.フラワー
	ぽかゆるたいむ
	太美ヨガサークル
	日本棋院当別支部
	パッチワークオンリーワン
文芸	当別短歌会
合計 36 団体	

(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体

令和5年5月1日現在

協会・連盟名	
陸上競技協会	スキー連盟
軟式野球連盟	サッカー連盟
バレーボール協会	相撲国技会
弓道連盟	ソフトボール協会
卓球協会	テニス協会
バスケットボール協会	バウンドテニス協会
剣道連盟	ミニバレー協会
柔道連盟	パークゴルフ協会
合計 16 団体	

(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

令和5年5月1日現在

地区名
北栄町
アウル
西町
元町
緑町
春日町
太美北
当別太ビトエ川下
スウェーデンヒルズ
スターライト
白樺町
合計 11 地区

(4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

令和5年5月1日現在

所 属
生活改善実践グループ
当別音頭を守る会
合計 2 団体

➤ 5 指定文化財一覧

令和5年5月1日現在

指 定 番 号	品 名	種 別	指定・登録 年月日	所 在 場 所	摘 要
1	伊達綱宗画筆対 三幅	有形文化財	S50.7.5	元町 伊達美知子氏 が所有	伊達綱宗（寛永17（1640）年生～正徳元（1711）年没）が、66才の時（宝永2（1705）年）画いたもので伊達正人が明治25（1892）年三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたもの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鷺鷥 【縦214cm 横60.5cm】
2	打掛（紫色）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め（1704年～1707年）冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたもの。
3	振袖（赤色）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間（1716年～1725年推定）冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緞公へ御入嫁の際お持ちしたもの。
4	打掛（白色）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
5	長はかま 及び着物	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家5代村緞公（宝永4（1707）年生～寛永元（1748）年没）が着用したもの。 （長ばかまは近衛家より拝領品）
6	のしめ（室内着） 及び帯	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家9代義監公（文化6（1809）年生～）が着用したもの。
7	陣羽織	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家10代邦直公（天保5（1834）年生～明治24（1891）年没）が着用したもの。
8	火事装束	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
9	子供用綿入れ （2組）	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家11代基理公（文久2（1862）年生～）が着用したもの。 （慶応、明治初期1825～1872年）
10	子供用単衣	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
11	当別開拓の図	有形文化財	S50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。 （岩出山出身 正蘭氏筆） 【縦68cm 横110.5cm】
12	伊達邸別館	有形文化財	S51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を 守る会が所有	当別音頭は、昭和45（1970）年、当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。
14	トウバツアカマツ セイウチ化石	有形文化財	R4.2.16	札幌市 北海道大学総合 博物館	絶滅した初期のセイウチ科の化石で、時代は中新世後期で約1,000～950万年前。昭和52（1977）年に当別川流域で発見された。この時代のセイウチ科の化石は記録が少なく、セイウチ科の進化の空白を埋める貴重な標本である。

➤ 6 教育の沿革

年 号	で き ご と
明治5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改正
24年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
25年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当）（明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
26年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
29年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
32年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
33年	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする（明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
34年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
35年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
36年	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
37年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
38年	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
39年	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
40年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
41年	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
42年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
43年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置（14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
44年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
45年	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
46年	・二級町村から一級町村へ昇格
47年	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる（明治42年には高等科は3年制に変更）
48年	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
49年	・二股小学校が二股教育所として創立
50年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
51年	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
52年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
53年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
54年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
55年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
56年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
57年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
58年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
59年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
60年	・札沼線当別―札幌間開通
61年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
62年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
63年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱）
64年	・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
65年	・当別村から当別町へ昇格（町制施行）
66年	・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される
67年	・四番川小学校が全焼、新校舎落成
68年	・当別中学校が当別小学校に併置され創立
69年	・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立
70年	・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立

年 号	で き ご と
昭和22年	・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	・ 第1回当別町成人式挙行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	・ 当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	・ 町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・ 当別町青少年問題協議会発足 ・ 当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き）
40年	・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙げ、弓道の道場として活用）
41年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・ 当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴静江奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足20周年記念式典挙行
43年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44年	・ 当別中学校を現在の下川町125番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） ・ 当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45年	・ 開基100年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） ・ 当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） ・ 当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等） ・ 当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡）
46年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） ・ 当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m） ・ 当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡）
47年	・ 当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） ・ 当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48年	・ 四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合
49年	・ 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） ・ 当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50年	・ 青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 ・ 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） ・ 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年校名を北海道医療大学に変更）
51年	・ 当別町社会教育指導員設置

年 号	で き ご と
昭和52年	・当別町中学校発足30周年記念式典挙行 ・当別町第2プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付） ・当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡） ・当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室） ・青山中央小中学校新校舎完成
53年	・当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室） ・中小屋中学校新校舎完成
54年	・当別町体育協会創立20周年記念式典挙行 ・当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m） ・当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡） ・当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）
56年	・当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m） ・当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）
57年	・当別ロータリークラブ奨学金制度発足 ・当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m） ・当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡） ・当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示） ・伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）
59年	・当別町教育奨励賞制定 ・当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330㎡）
60年	・当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）
62年	・当別町スポーツ賞制定
63年	・当別小学校に「ことばの教室」開級（1学級認可）
平成元年	・金沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町総合体育館完成（総工事費12億9,000万円・敷地面積10,802㎡・建物面積4,287.94㎡・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム） ・当別町体育協会創立30周年記念式典挙行
2年	・当別町きららパークゴルフ場完成（8ホール、平成3年4ホール増設）
3年	・当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員2名配置） ・当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園
4年	・当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積910.8㎡・鉄骨及び膜構造・2面） ・当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費2億3,460万円・建物面積1,103㎡・規模：一般用25m×17m、低学年用 他） ・学校週5日制スタート
5年	・当別町学校体育施設開放事業開始
6年	・当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場） ・当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）
7年	・当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋コンクリート・鉄骨造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始） ・少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8年	・中小屋小学校が火災により焼失
9年	・西当別コミュニティーセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室） ・当別町中学校開校50周年記念式開催
10年	・中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）
11年	・当別町生涯学習推進計画策定 ・当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）
12年	・青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始） ・当別町青山中央プール廃止
13年	・当別町適応指導教室設置 ・学校評議員制度開始 ・当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14年	・当別町子ども議会開催 ・当別町歴史ボランティア設置

年 号	で き ご と
平成15年	・文部科学省モデル地域事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度） ・伴静江奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第2プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16年	・川下小学校を閉校し当別小学校に統合 ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第2次生涯学習推進計画策定
17年	・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町文化賞制定
18年	・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園） ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中） ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始
19年	・当別町弁華別プール廃止 ・蔵岱小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設 ・当別町公民館及び開拓郷土館廃止 ・当別町特別支援教育推進サポート組織設置 ・「子どもの健全育成サポートシステム」開始
20年	・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足 ・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始 ・当別町学校支援地域本部事業開始
21年	・当別町総合体育館アリーナ床補修工事 ・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行 ・第3次当別町生涯学習推進計画策定 ・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事 ・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行 ・当別小学校水泳プール改修工事
22年	・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立 ・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定 ・当別町140年記念式典及び記念諸行事開催 ・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事 ・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
23年	・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体 ・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園 ・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転 ・当別町家庭教育の手引き発刊
24年	・当別小学校体育館落成(工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下) ・栄町教職員住宅解体工事 ・当別町立小・中学校で2学期制を導入 ・当別プレイハウスが当別小学校内に移転

年 号	で き ご と
平成24年	・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕 ・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧
25年	・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定 ・西当別中学校教員住宅解体 ・当別小学校北校舎トイレ改修工事 ・当別中学校トイレ改修工事 ・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事 ・西当別中学校給水設備改修工事
26年	・第4次当別町生涯学習推進計画策定 ・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設 ・土曜学習会の開始 ・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転 ・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修
27年	・当別町いじめ防止基本方針策定 ・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定 ・当別町子ども発達支援センター完成 ・当別町子どもの読書活動推進計画（第2次計画）策定 ・家読の日を制定（毎月23日） ・町内各小学校のフッ化物洗口事業を1年生から6年生まで実施 ・放課後学習会の開始 ・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成27～29年度）
28年	・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合 ・弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入 ・教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管 ・教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設 ・当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置 ・各中学校へデジタル教科書導入（国、数、理、社、英） ・町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
29年	・西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸） ・銚鋼管工業から120万円の目的寄付があり、西当別中学校のバスケットボードを改修 ・中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校） ・当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置 ・当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足 ・「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞 ・西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根） ・各小学校の3～6年生へデジタル教科書導入（国語、算数）
30年	・教育委員会管理課を学校教育課に改称 ・西当別小学校屋内体育館屋根改修工事（工事費19,762千円、設計費4,644千円） ・当別町一体型義務教育学校基本設計（37,962千円） ・小学校外国語授業完全実施（新学習指導要領対応） ・ICT機器（電子黒板、書画カメラ等）全校全学級へ配置完了
令和元年	・当別町一体型義務教育学校地質調査業務委託（15,660千円） ・当別町一体型義務教育学校測量業務委託（5,886千円） ・西当別小学校屋内体育館改修工事（33,761千円） ・町立ふとみ保育所を廃止し、社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園おとぎのくにを開園 ・教育委員会社会教育課文化財・町史編纂係が文化財保護係に改称 ・当別町義務教育学校開校準備委員会及び教育課程編成委員会設置 ・当別町一体型義務教育学校実施設計（128,700千円）
2年	・当別町図書館及び西当別分館設置 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（建設・電気・機械）（4,684,900千円） ・当別町一体型義務教育学校建設工事監理業務委託（77,000千円） ・当別町一体型義務教育学校建設損失補償調査業務委託（5,236千円） ・西当別中学校校舎屋上防水工事（12,650千円） ・当別町教育系ネットワークシステム端末購入（65,098千円） ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（50,930千円） ・当別町教育系ネットワークシステム端末付属品購入（6,826千円） ・校務系ネットワークシステム構築業務委託（69,300千円） ・家庭用モバイルルーター購入（2,176千円） ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（その2）（354,000千円） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国で一斉臨時休業（3～5月）

年 号	で き ご と
令和3年	・学習用情報機器貸出、家庭学習用通信機器貸出開始 ・学校給食費の公会計化 ・北海道C L A S Sプロジェクト（地学協働活動推進実証事業）実施（～令和5年度） ・保育支援者配置補助事業の実施 ・子育て短期支援事業（ショートステイ事業）実施 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（外構工事）（136,950千円）
4年	・とうべつ学園備品購入（校用 45,353千円、教材 19,923千円）、既存備品移送運搬・備付（4,070千円） ・「トウベツアカマツセイウチ化石」の当別町有形文化財指定 ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」完成（2月） ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」引き渡し（3月） ・当別小学校、当別中学校統合による閉校（3月） ・義務教育学校「とうべつ学園」開校（4月） ・子どもプレイハウス民間委託開始 ・「学びのハンドブック」を保護者に配布（4月） ・鈴木直道北海道知事がとうべつ学園を訪問（4月） ・とうべつ学園見学会開催（6月） ・当別町一体型義務教育学校建設工事（グラウンド整備）（190,872千円） ・当別中学校解体工事（511,500千円） ・当別町総合体育館屋上防水改修工事（126,500千円） ・とうべつ学園開校記念式典（11月）
5年	・成人年齢引き下げに伴い、成人式を「はたちのつどい」と改称して開催

➤ 7 統計データ

(1) 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	武道場 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
西当別小学校	R C	4,381	702		15,789	昭和 57 年	昭和 58 年
西当別中学校	R C	3,869	678		28,749	昭和 55 年	昭和 54 年
とうべつ学園	R C	9,361	2,293	428	43,310	令和 4 年	令和 4 年

※R C：鉄筋コンクリート造

(2) 児童生徒数の推移

◆ 小学校児童数

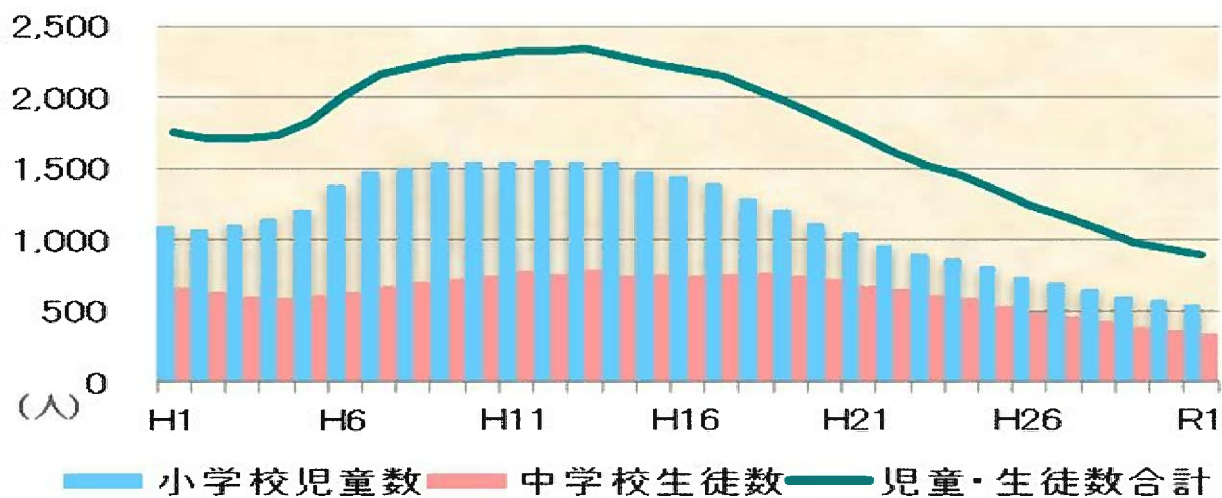
年度	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
R 1	73	80	81	108	115	95	552
2	68	73	83	81	106	115	526
3	78	67	73	87	82	105	492
4	82	77	70	77	87	81	474
5	77	85	81	73	81	90	487

◆ 中学校生徒数

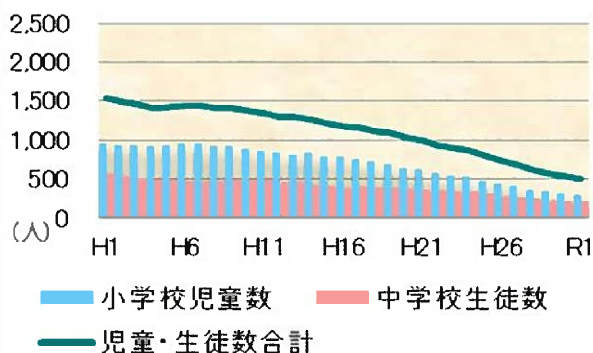
年度	1 年	2 年	3 年	計
R 1	115	108	119	342
2	96	114	110	320
3	112	93	115	320
4	106	113	93	312
5	79	107	113	299

各年 5 月 1 日現在（単位：人）

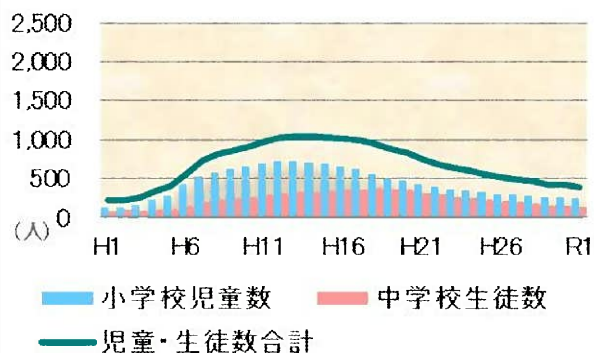
町内全体の児童・生徒数の推移



当別地区の児童・生徒数の推移



西当別地区の児童・生徒数の推移



(3) 各学校統合年の一覧

◆ 小学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 小 学 校	西当別小	S26	
	太 美 小	M29	S26
	獅子内小	M33	S26
	当別高岡小	M34	H3

◆ 中学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 中 学 校	西当別中	S22	
	当別高岡中	S25	S43

◆ 義務教育学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
当 別 小	M 6		
東 裏 小	M35		H20
蕨 岱 小	M44		H19
中小屋小	M33		H18
川 下 小	M37		H16
金 沢 小	M32		H1
材木沢小 (分校)	T 4	S40	
弁華別小	M25		H28
青 山 小	M34	S50	
青山中央小	M34		H12
二 股 小	M41	S50	
四番川小	M42	S48	
三番川小	M42	S46	
当 別 中	S22		
中小屋中	S22		H17
弁華別中	S22		H28
青山中央中	S22		H12
二 股 中	S28	S48	
三番川中	S28	S46	
四番川中	S22	S42	

R4
とうべつ学園

(4) 就学援助の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
新小学校 1年生	対象人数	10	9	11
	援助総額	510	486	595
小学校	対象人数	93	79	55
	援助総額	5,961	5,972	4,552
新中学校 1年生	対象人数	15	19	8
	援助総額	900	1,140	504
中学校	対象人数	65	50	42
	援助総額	6,167	5,560	5,525
計	援助総額	13,539	13,159	11,176

* 平成29年度から翌年度の新小学校・新中学校1年生に新入学準備金を支給。

(5) 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	対象人数	5	9	10
	支給総額	137	350	391
中学校	対象人数	5	1	2
	支給総額	258	42	156
計	対象人数	10	10	12
	支給総額	395	393	547

(6) 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	対象人数	44	50	56
	支給総額	234	282	310
中学校	対象人数	7	6	8
	支給総額	42	36	48
計	対象人数	51	56	64
	支給総額	276	318	358

(7) 社会教育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室 1	和室 2・3	談話室	計	
R 2	件数	148	15	547	106	112	24	1	953
	人数	1,077	101	4,475	1,195	604	117	3	7,572
R 3	件数	132	17	454	158	84	7	0	852
	人数	1,134	132	5,241	1,460	451	34	0	8,452
R 4	件数	169	8	546	183	147	43	0	1,096
	人数	1,533	109	5,486	2,276	755	408	0	10,567

西当別コミュニティセンター

年度\区分		アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他（見学）	計
R 2	件数	757	266	128	110	19	170	2	1,452
	人数	12,063	4,393	1,229	1,142	195	745	5	19,772
R 3	件数	399	215	103	78	1	122	0	918
	人数	6,229	4,032	884	1,140	5	712	0	13,002
R 4	件数	1,035	340	193	156	14	229	0	1,967
	人数	14,442	6,521	1,887	2,144	215	1,252	0	26,461

当別町図書館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R 2	8,052	8,078	16,130	2,876	543	3,419	12,718	9,958	22,676
R 3	7,641	7,521	15,162	2,742	478	3,220	13,110	10,299	23,409
R 4	11,231	10,463	21,694	3,798	636	4,434	11,847	8,604	20,451

当別町図書館西当別分館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R 2	7,242	7,734	14,976	2,678	544	3,222	10,516	9,455	19,971
R 3	6,611	5,294	11,905	2,192	381	2,573	10,834	9,740	20,574
R 4	9,522	9,729	19,251	3,674	491	4,165	9,591	8,356	17,947

世紀会館

年度\区分		洋室	集会室A	集会室B	和室	計
R 2	件数	24	74	68	0	166
	人数	118	525	472	0	1,115
R 3	件数	17	61	61	0	139
	人数	85	340	339	0	764
R 4	件数	32	103	56	1	192
	人数	162	720	345	5	1,232

当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
R 2	792
R 3	450
R 4	1,263

当別町総合体育館

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
R 2	件数	1,052	355	126		1,533
	人数	21,397	2,436	838	5,177	2,539
R 3	件数	416	223	101		740
	人数	17,590	1,604	797	3,776	1,285
R 4	件数	929	212	197		1,338
	人数	30,093	3,441	1,670	6,159	2,317

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

(8) 子ども発達支援センター利用状況

年度\区分		児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	特定相談支援
R 2	人数	22	11	8	46	0
	件数	893	340	31	-	-
R 3	人数	23	15	6	49	0
	件数	732	425	10	-	-
R 4	人数	23	21	8	25	0
	件数	935	490	38	-	-

(9) 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

① 施設型給付費

施設型給付費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育	対象児童数	131	131	123
	給付額	121,278	113,208	101,078
保育	対象児童数	179	178	173
	給付額	189,586	202,278	206,916
計	対象児童数	310	309	296
	給付額	310,864	315,486	307,994

② 特別保育事業補助金等

補助金等の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
延長保育 事業	実施施設数	2	2	2
	対象児童数	46	38	39
	補助金交付額	1,493	1,100	1,100
障がい児 保育事業	教育	対象児童数	2	6
		補助金交付額	4,066	3,962
	保育	対象児童数	4	1
		補助金交付額	6,055	4,022
	計	対象児童数	6	7
		補助金交付額	7,984	8,095
一時預かり 事業 (一般型)	実施施設数	1	1	1
	対象児童数	8	7	8
	補助金交付額	3,056	2,976	2,976
一時預かり 事業 (幼稚園型)	実施施設数	2	2	2
	対象児童数	68	79	86
	補助金交付額	7,038	10,380	9,346

令和5年度
当別町の教育

令和5年6月発行
編集・発行：当別町教育委員会



未来を拓く9年間



当別町小中一貫教育